

2020年3月期（第18期）

決算説明資料

2020年5月19日
株式会社ジーダット

1. 2020年3月期 決算概要

2. 2021年3月期 計画・業績予想

2019年3月期のポイント

売上高:18.9億円(対前年比0.5%増)
営業利益:1.3億円(11.9%増)、経常利益:1.3億円(8.6%増)

自社開発製品の売上が伸長、市場縮小の影響をカバー

ターンキー・ビジネス受注増も、
日米貿易摩擦による大口顧客の受注減少

自社開発製品「SX-Meister」の機能拡張を継続

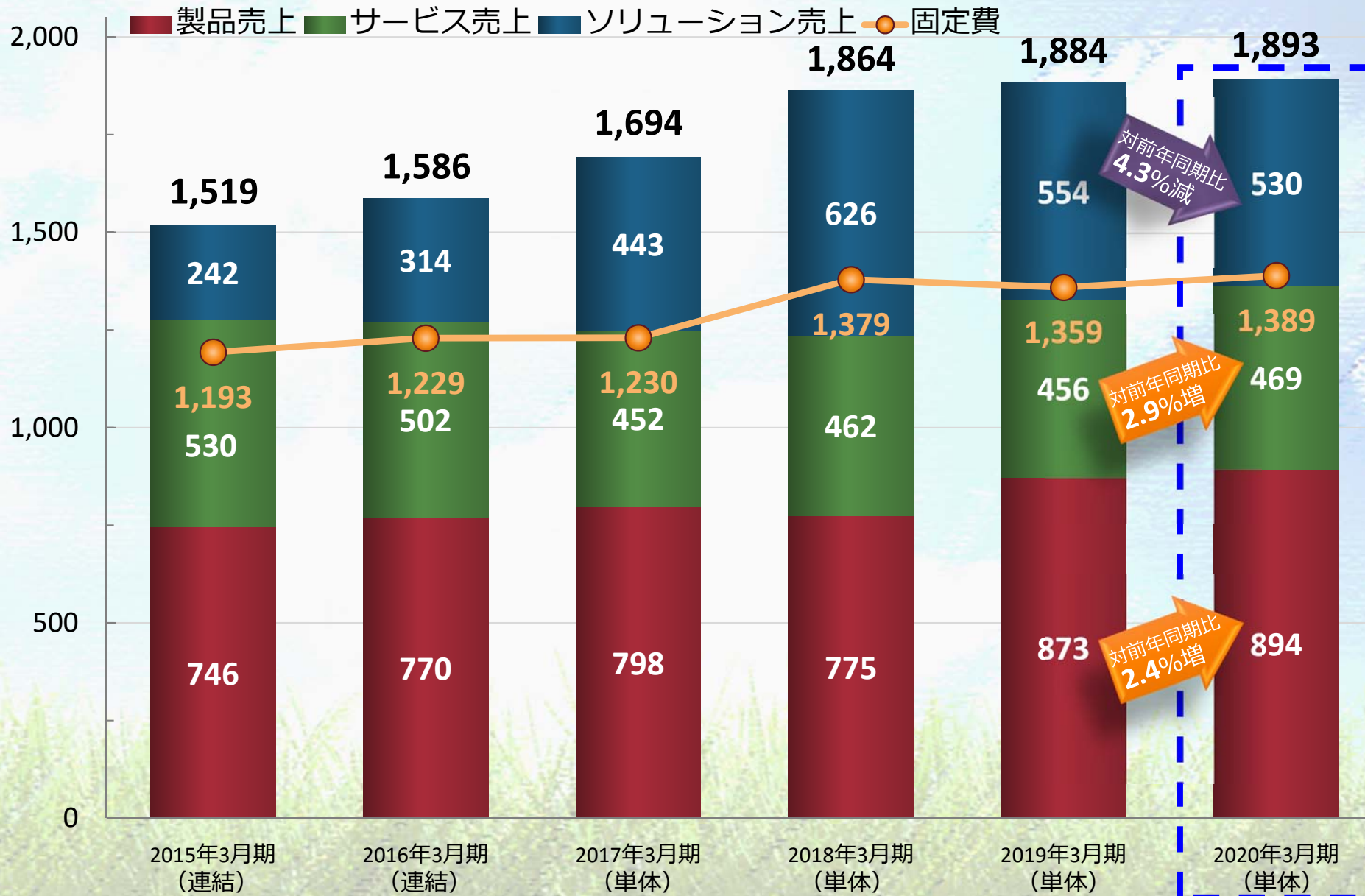
2019年3月期業績概要

(単位：百万円)

	2019年3月期		2020年3月期		
	実績	売上高比	実績	売上高比	対前期比
売上高	1,884	100.0%	1,893	100.0%	0.5%
売上総利益	1,114	59.2%	1,097	57.9%	△1.6%
販売費及び 一般管理費	998	53.0%	966	51.1%	△3.2%
営業利益	116	6.2%	130	6.9%	11.9%
経常利益	124	6.6%	135	7.2%	8.6%
当期純利益	88	4.7%	93	4.9%	5.0%

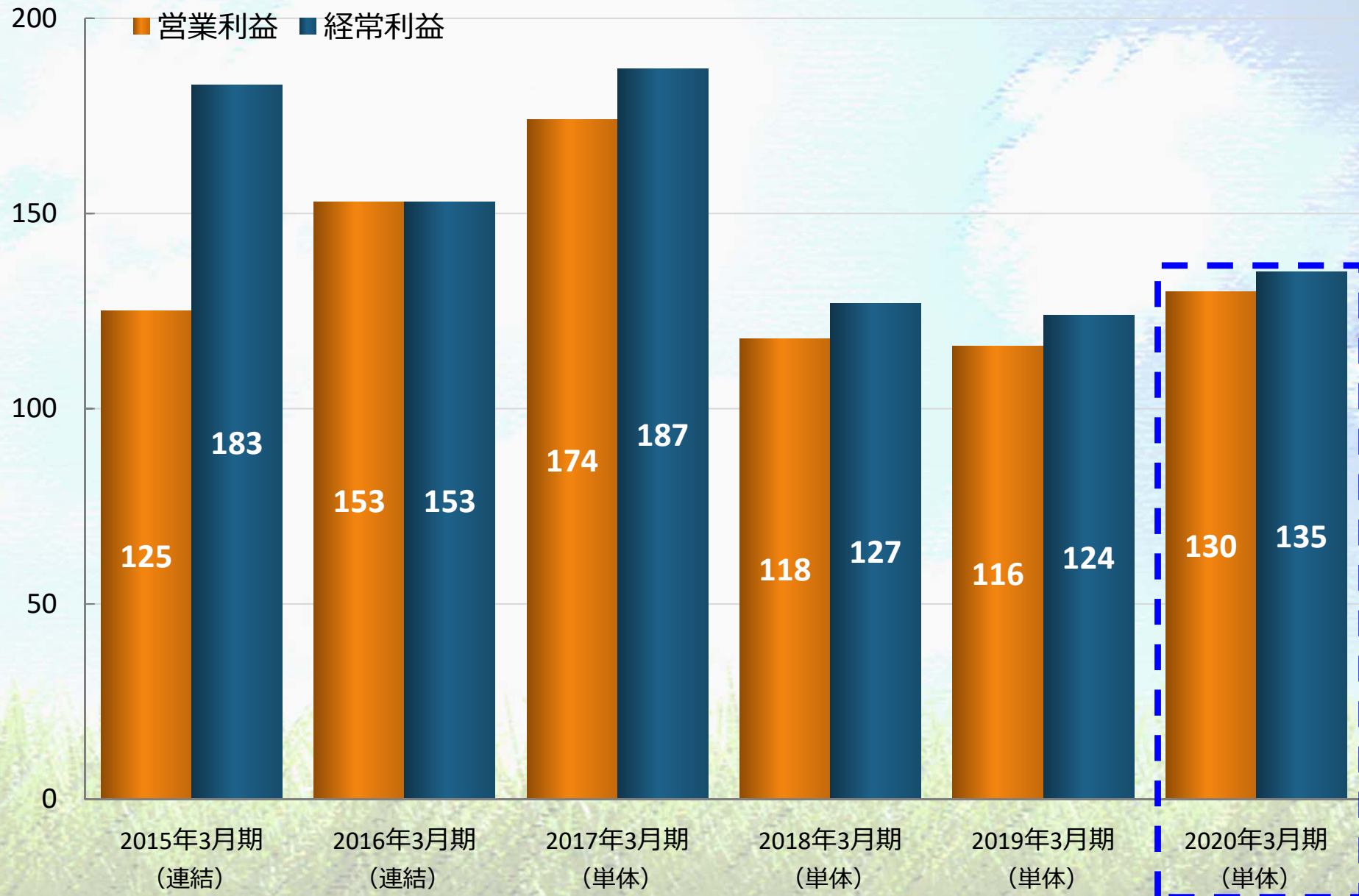
売上高・固定費の推移

(単位：百万円)



利益の推移

(単位：百万円)



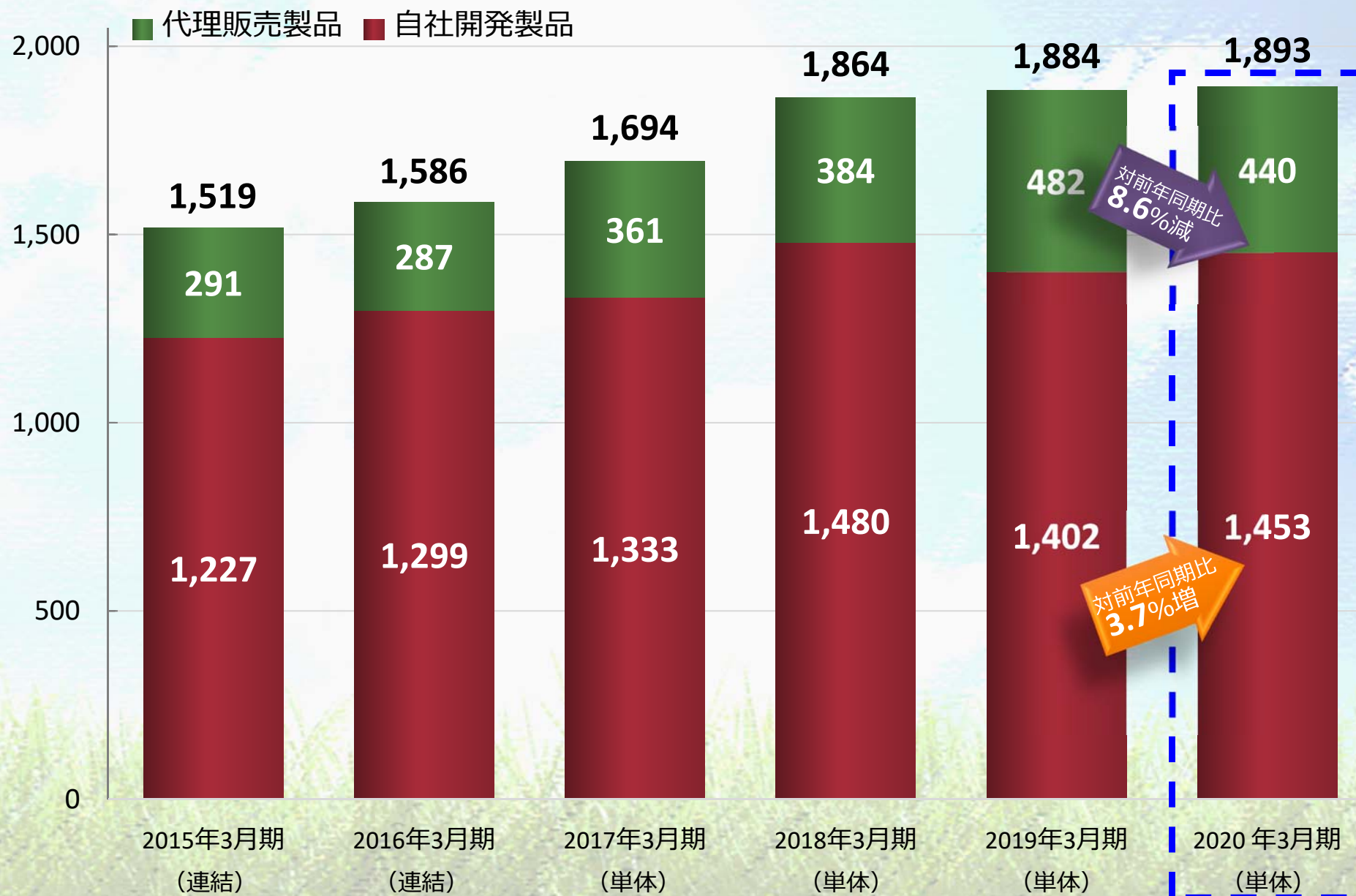
市場別売上高（半導体/FPD）

(単位：百万円)



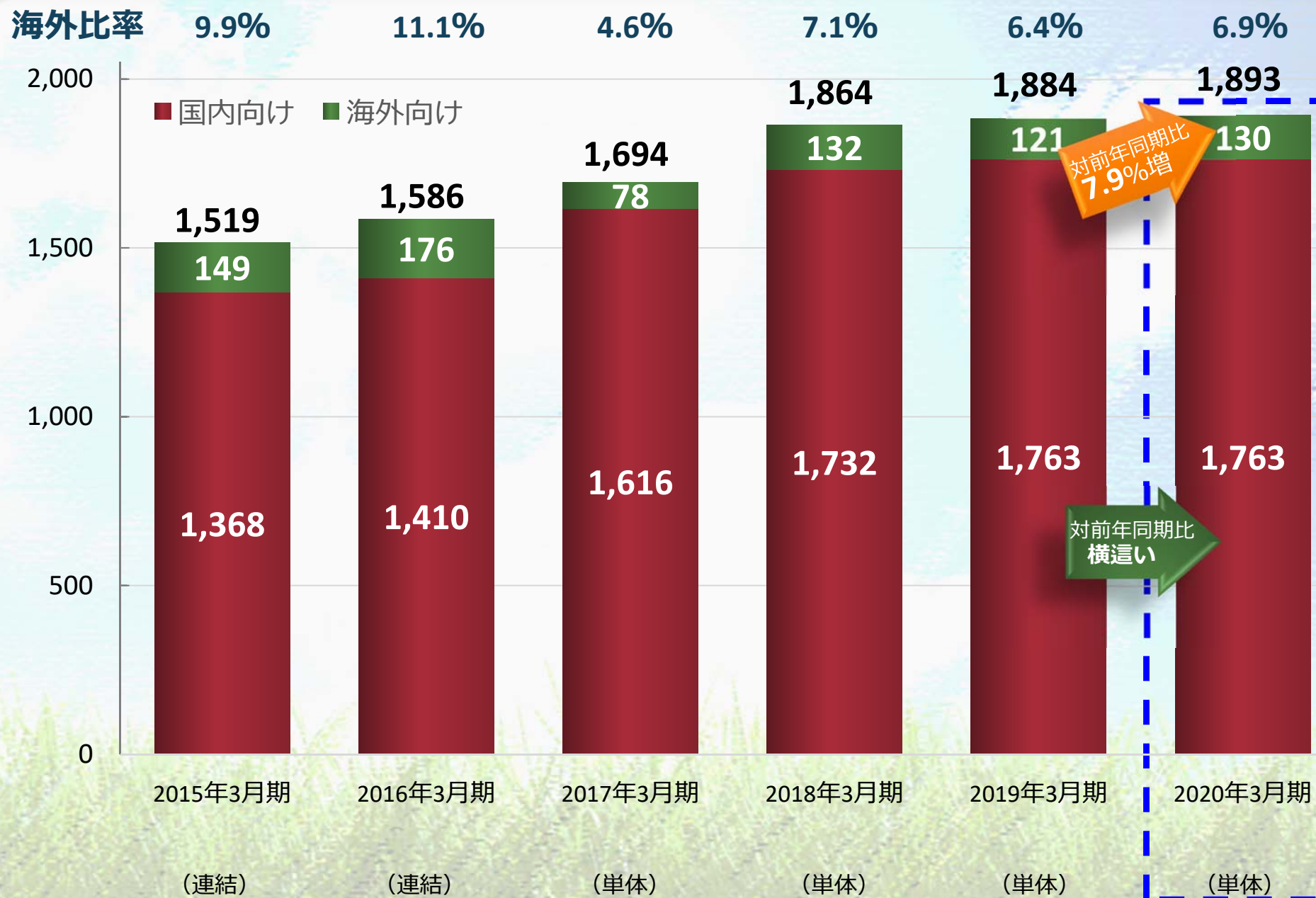
製品区分別売上高（自社開発/代理販売）

(単位：百万円)



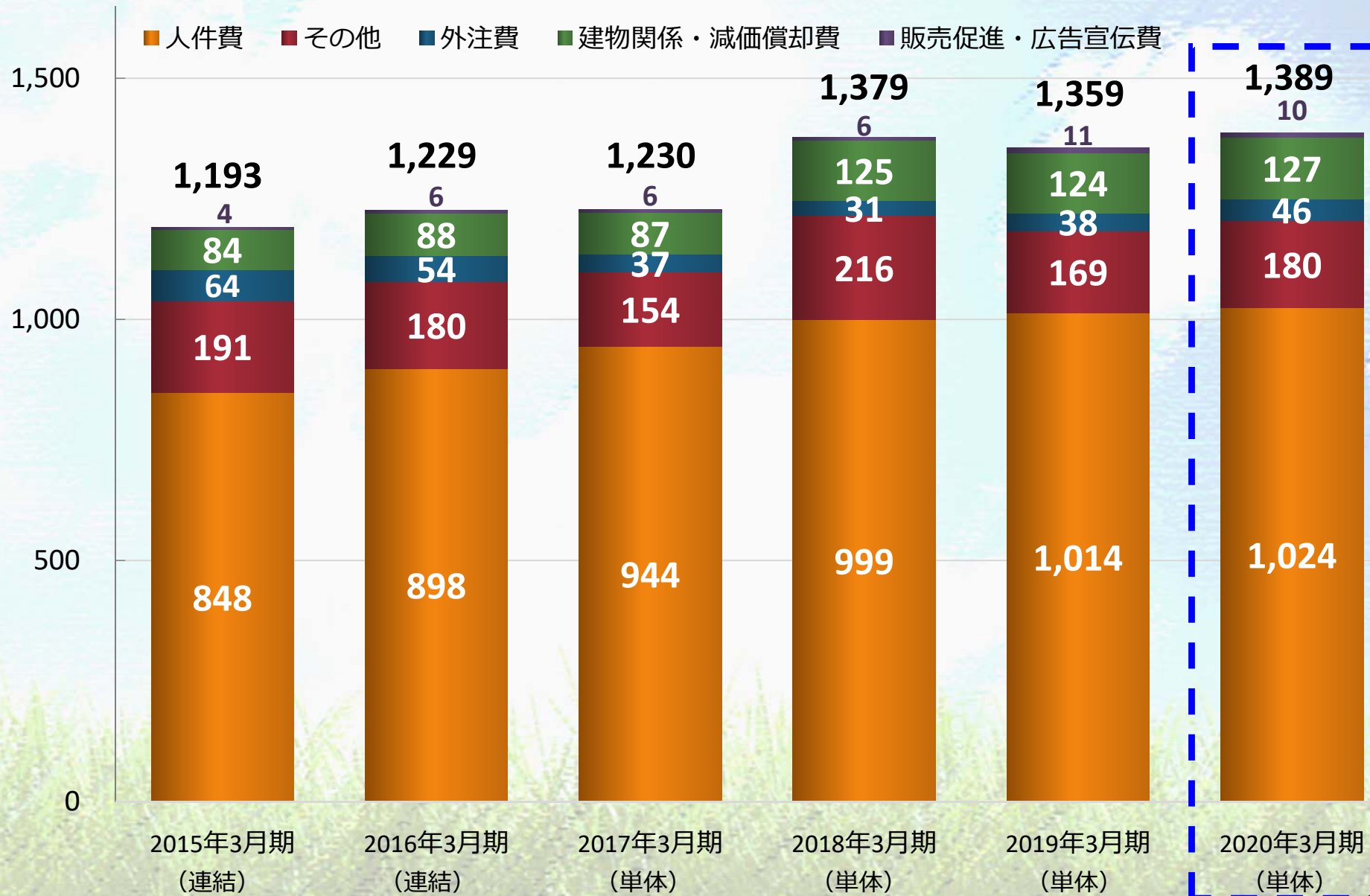
販売先別売上高（国内/海外）

(単位：百万円)



固定費内訳

(単位：百万円)



貸借対照表

(単位：百万円)

	2019年 3月期末	2020年 3月期末	差異		2019年 3月期末	2020年 3月期末	差異
(資産の部)				(負債の部)			
I 流動資産	3,069	3,199	129	I 流動負債	452	527	75
現金及び預金	2,583	2,720	136	買掛金	26	40	13
受取手形及び売掛金	21	11	△ 10	未払金	48	33	△ 15
電子記録債権	158	177	19	前受金	210	293	83
売掛金	226	210	△ 15	賞与引当金	82	85	2
たな卸資産	10	14	3	その他	84	74	△ 9
前渡金	49	42	△ 7	II 固定負債	3	6	2
前払費用	15	20	4	資産除去債務	3	6	2
その他	3	2	△ 1	負債合計	456	533	77
II 固定資産	194	197	2	(純資産の部)			
有形固定資産	37	41	3	I 株主資本	2,808	2,862	54
無形固定資産	6	4	△ 2	資本金	760	760	—
投資その他の資産合計	150	151	1	資本剰余金	891	891	—
投資有価証券	50	58	7	利益剰余金	1,185	1,240	54
長期前払費用	11	6	△ 4	自己株式	△ 28	△ 28	—
繰延税金資産	38	37	△ 1	II 新株予約権	0	0	—
その他	49	48	△ 1	純資産合計	2,808	2,862	54
資産合計	3,264	3,396	132	負債純資産合計	3,264	3,396	132

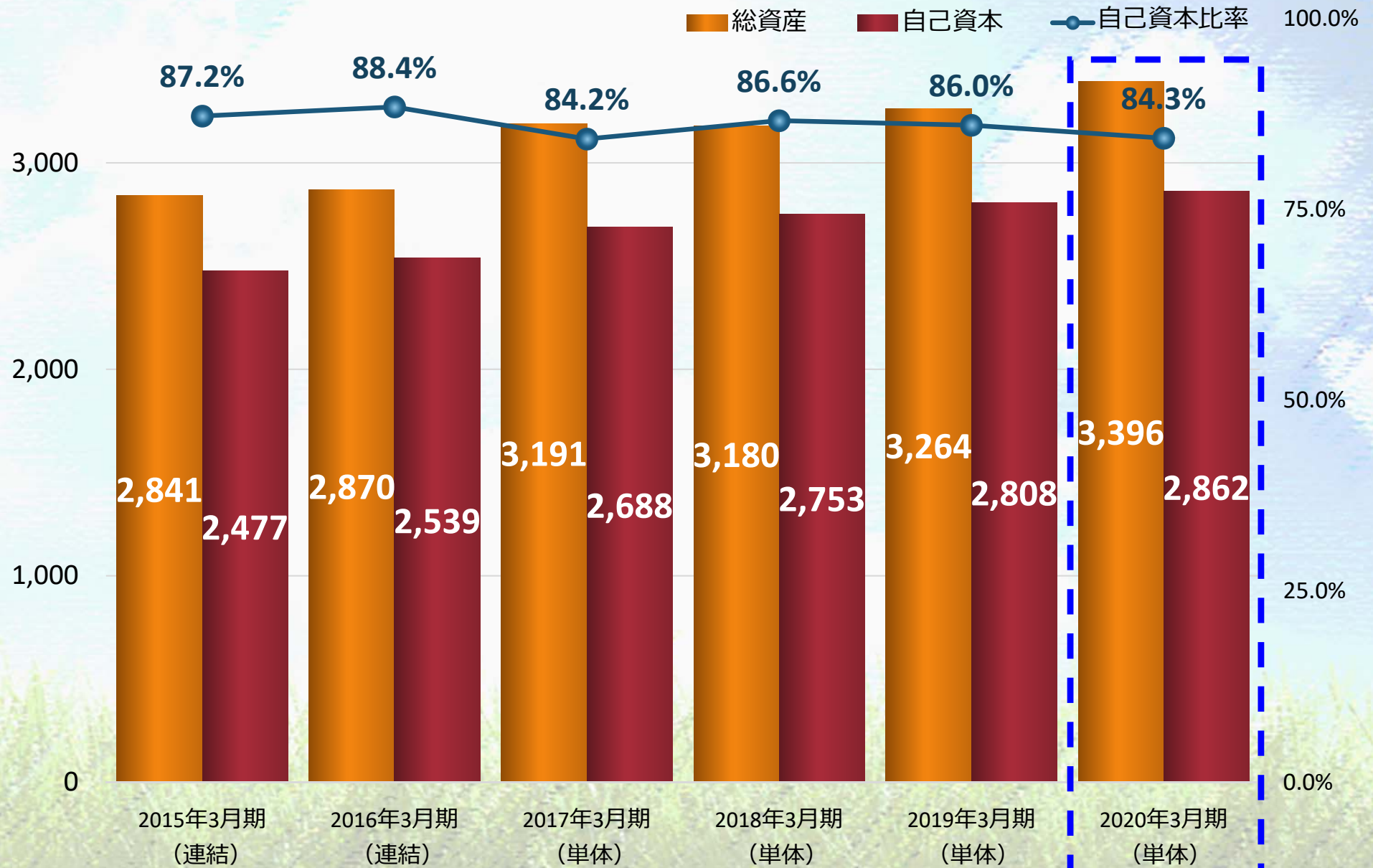
キャッシュフロー計算書

(単位：百万円)

	2019年3月 期末	2020年3月 期末	差異
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	93	192	98
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	152	△ 16	△ 168
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 38	△ 38	△ 0
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	0	△ 0	△ 0
V 現金及び現金同等物の増減額	208	137	△ 71
VI 現金及び現金同等物の期首残高	1,447	1,656	208
VII 現金及び現金同等物の期末残高	1,656	1,793	137

総資産・自己資本

(単位：百万円)





- ◆ 主力製品の機能拡張を継続
 - ✓ 6月 SX-Meister Ver.7.0をリリース
 - 制約検証機能、匠設計環境の拡張
 - 異形パネル設計機能のサポート
 - ✓ 12月 SX-Meister Ver.8.0をリリース
 - パワーデバイス解析機能の拡張
- ◆ 産学連携の促進
 - ✓ AIを用いたLSI設計自動化の研究 (/w 群馬大)
- ◆ 販促イベントの実施
 - ✓ 各種展示会に出展
 - DAC、Display China etc.
 - ✓ 各種自社セミナーを開催
 - Technology Seminar、Solution Seminar etc.

1. 2020年3月期 決算概要

2. 2021年3月期 計画・業績予想

2020年3月期のポイント

売上高:20.5億円(対前年比8.2%増)
営業利益:1.7億円(30.7%増)、経常利益:1.7億円(25.5%増)

自社開発製品の機能拡張 & 販促活動の継続

台・中・韓の特定分野にフォーカスした海外向け拡販

電子部品等設計受託の拡張 & 効率向上

2020年3月期業績概要

(単位：百万円)

	2020年3月期		2021年3月期		
	実績	売上高比	計画	売上高比	対前期比
売上高	1,893	100.0%	2,050	100.0%	8.2%
売上総利益	1,097	57.9%	1,180	57.6%	7.6%
販売費及び 一般管理費	966	51.1%	1,010	49.3%	4.5%
営業利益	130	6.9%	170	8.3%	30.7%
経常利益	135	7.2%	170	8.3%	25.5%
当期純利益	93	4.9%	112	5.5%	20.6%

◆ 全般

- ✓ テレワークの急増に伴い、データセンター、通信・PC関連の需要が大幅拡大
- ✓ コロナ禍の影響は下期に顕在化する可能性
- ✓ 特にスマホ・車載関連への影響を懸念

◆ 半導体

- ✓ メモリ、通信系は増大する見通し
- ✓ パワーデバイスは車載向けが不透明

◆ FPD

- ✓ 特にスマホ、車載向けが不透明

◆ 「SX-Meister」 の製品力／販売力の増強

✓ 機能拡張を継続

- 企画 ⇒ 開発 ⇒ サポート 体制を一本化して PDCAサイクルをスピードアップ
- アナログ設計自動化環境(ACC*)を新規開発

* ACC : Analog Chip Compiler

- 各種デバイス設計向け機能の拡張
- 大学等との「オープンイノベーション」を加速

✓ 戦略的販促プロモーションを展開

- オンライン販促セミナーの開催
- 将来構想を紹介するプライベートセミナーの開催
- 強力な代理販売品を絡めた顧客拡張活動

◆ ソリューション・ビジネスの拡張

✓ 電子デバイス設計受託の拡張・効率化

- 「ターンキー」ビジネスの本格立ち上げ
- 設計効率向上への取り組み（開発部隊との連携）

◆ 海外市場における顧客層の拡張

✓ 重点販売国に注力

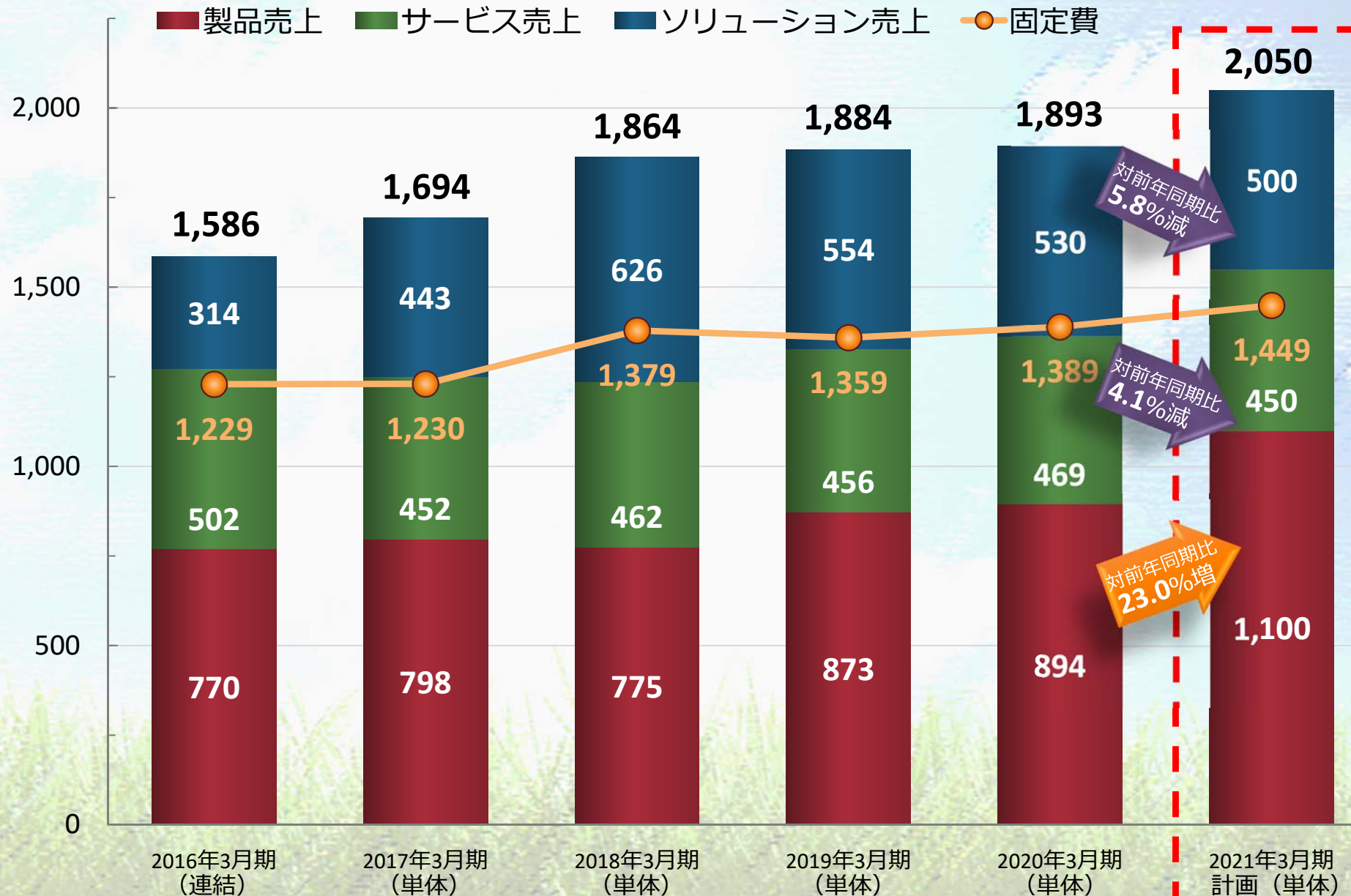
- 台湾、中国、韓国
- コロナ禍からの復活に向けた投資をターゲット

✓ 競争力のある重点販売製品にフォーカス

- FPD分野：異形表示パネル設計機能
- 半導体分野：パワーデバイス設計機能

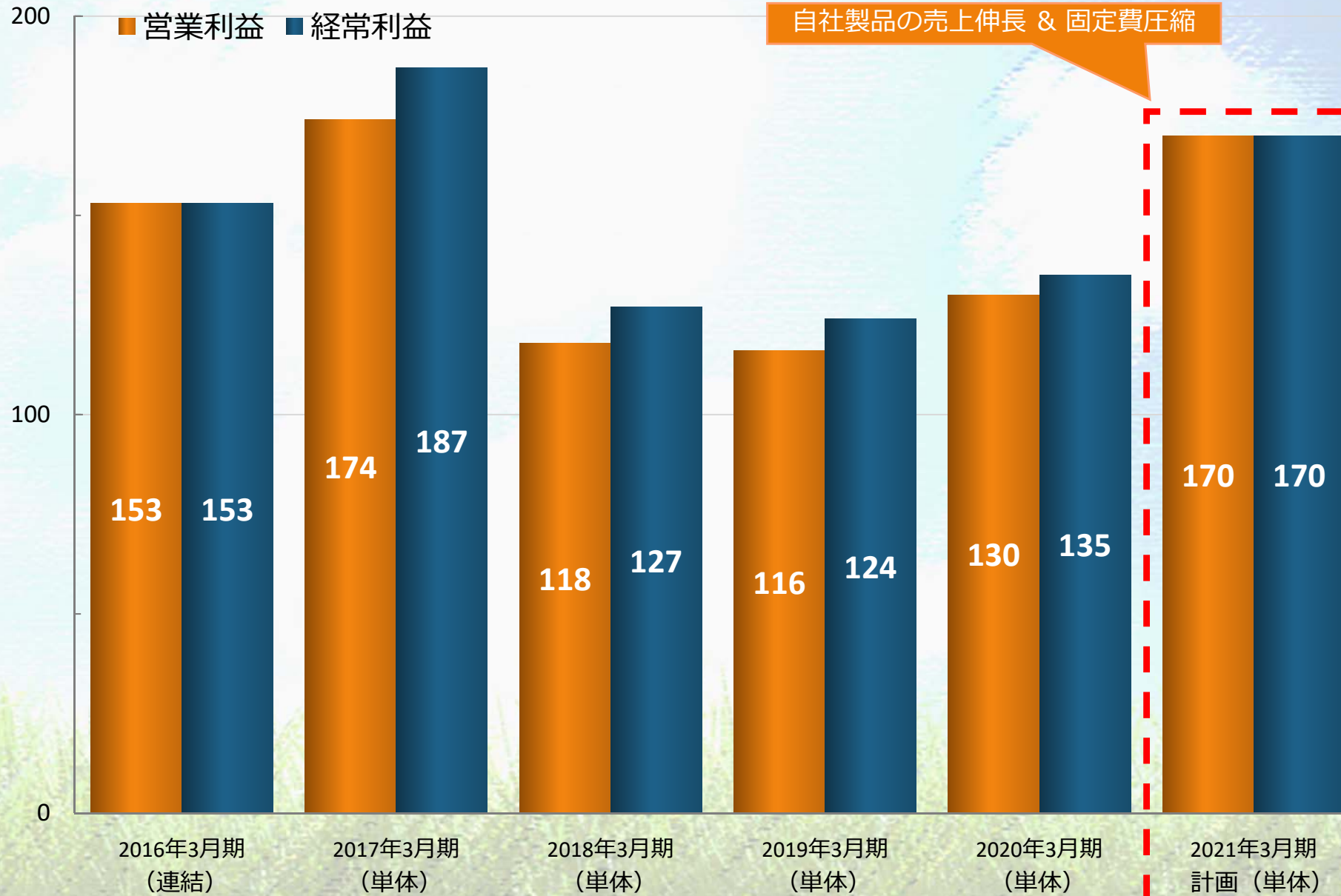
売上高・固定費の推移

(単位：百万円)



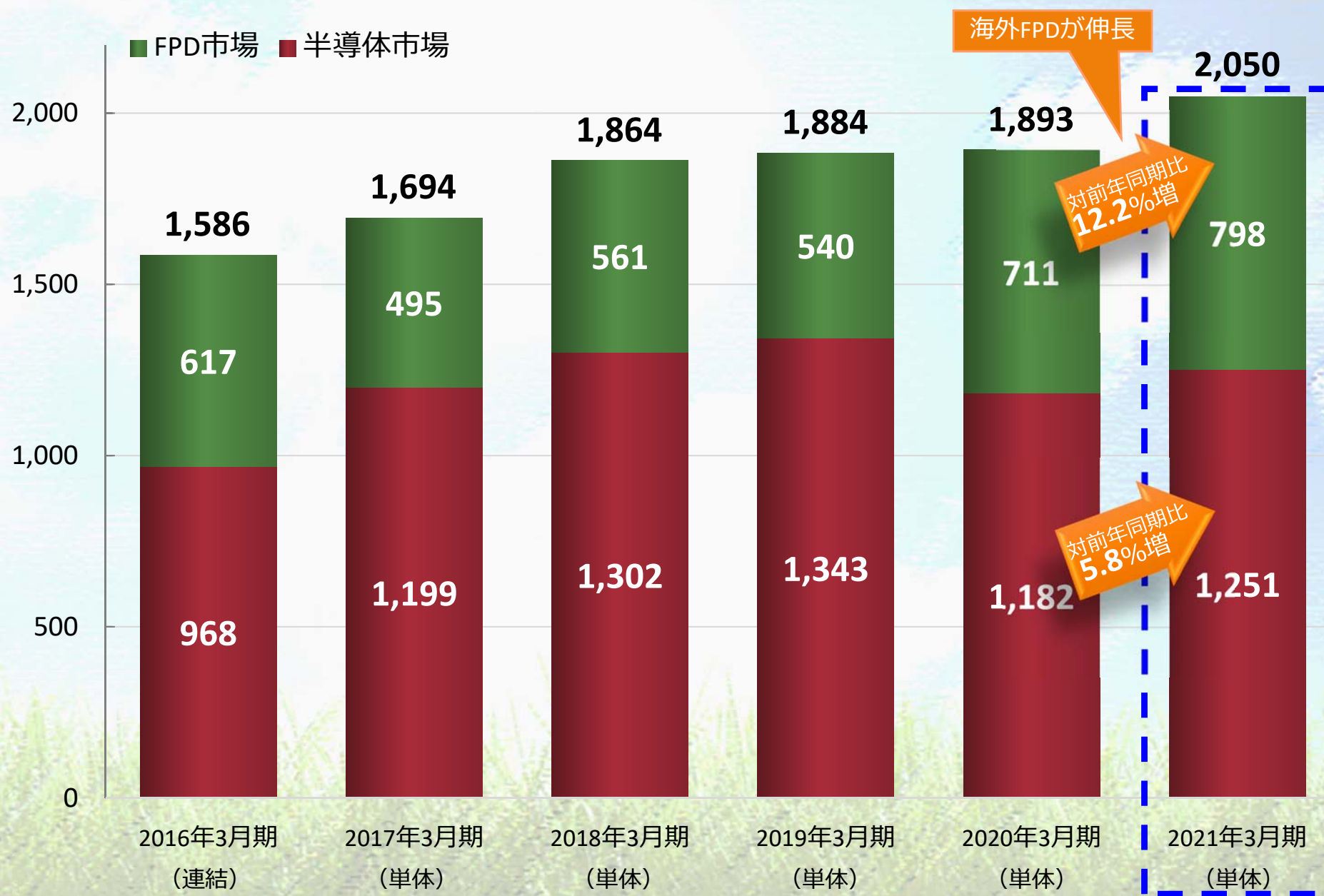
利益の推移

(単位：百万円)



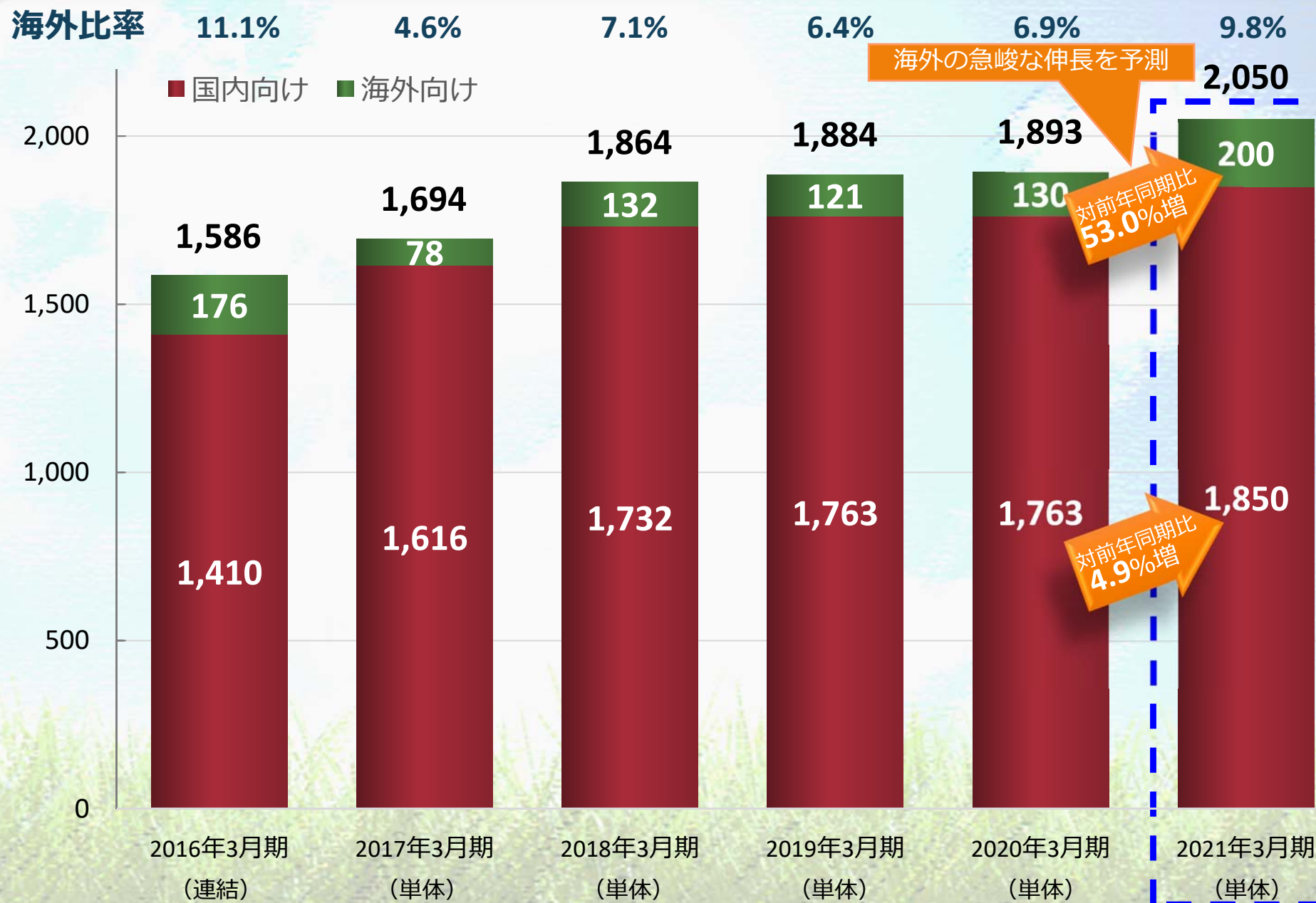
市場別売上高（半導体/FPD）

(単位：百万円)



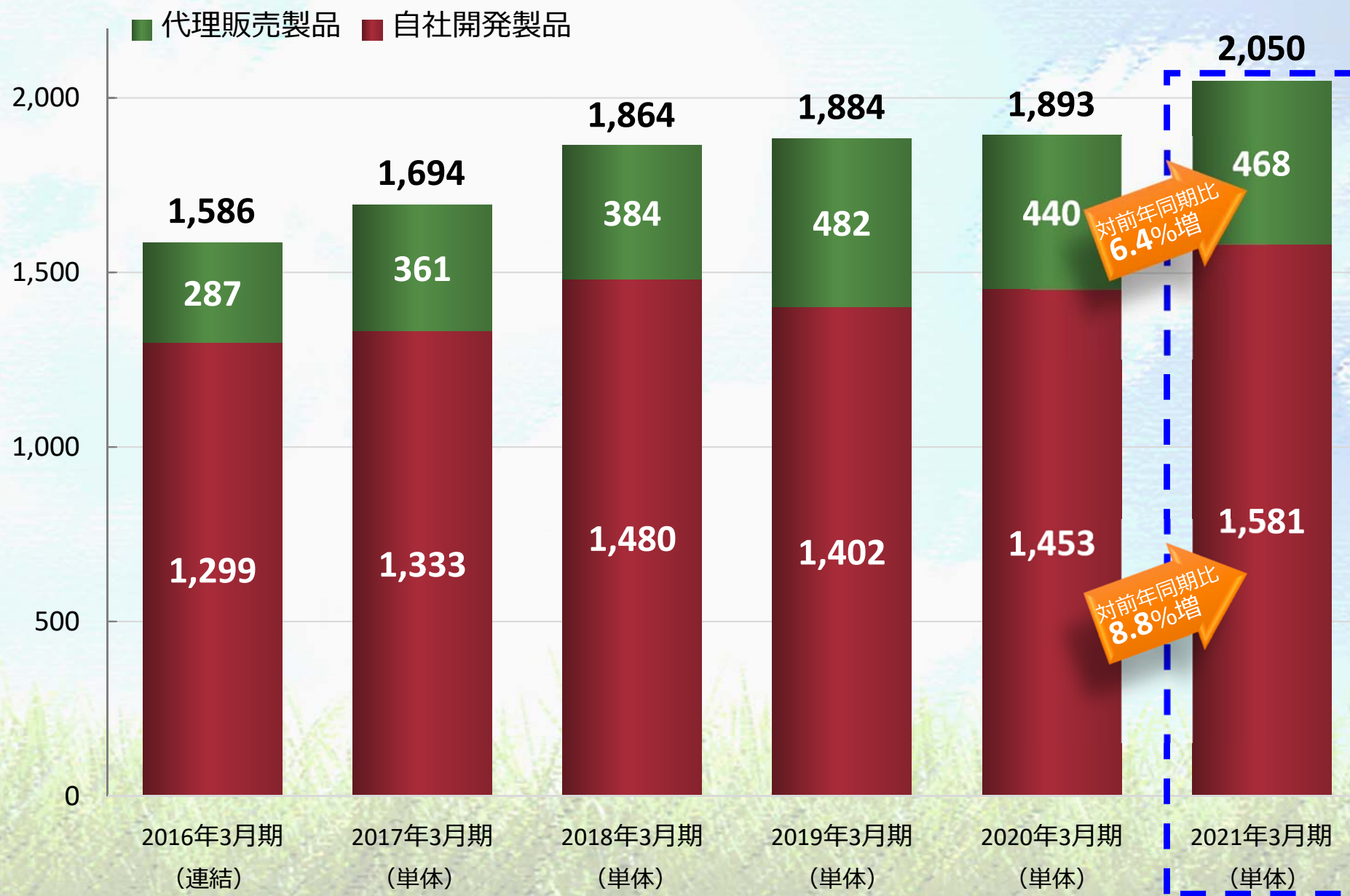
販売先別売上高（国内/海外）

(単位：百万円)



製品区分別売上高（自社開発/代理販売）

(単位：百万円)



**ご高覧いただきまして
ありがとうございました**